



【略歴】

昭和 54 年 日本大学文理学部心理学科卒業
昭和 57 年 聖マリアンナ医科大学病院神経精神科 臨床心理士
平成 5 年 北海道医療大学看護福祉学部 講師・助教授
平成 13 年 東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科 教授
認知症介護研究・研修仙台センター 研究・研修部長
平成 18 年 現職

(現在の公職) 日本老年社会学会理事, 日本老年精神医学会理事, 日本認知症ケア学会理事,
日本認知症ケア学会誌編集委員長, 日本臨床心理士会高齢者支援専門委員

(主な著書)

・認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか(単著)河出書房新社
・認知症の人の介護者のための本(単著)河出書房新社 ほか

(主な論文)

・改訂長谷川式簡易知能評価スケールの作成, 老年精神医学雑誌
・質問式による認知機能障害の心理学「社会福祉士養成テキストブック」(編著)ミネルヴァ書房
・高齢者のための知的機能検査の手引き(共著)ワールドプランニング
・医療と看護のための心理学(共著)

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) の使い方

東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科・教授 / 認知症介護研究・研修仙台センター・センター長

加藤 伸 司

・改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)について

1974年に作成された長谷川式簡易知能評価スケールは、幅広く臨床の領域で使用されてきたが、その後質問項目と採点基準等の見直しが行われ、1991年に改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)として改訂された。

・使用目的と特徴

一般の高齢者から認知症高齢者をスクリーニングすることを目的に作成されたものであり、記憶を中心とした高齢者の大まかな認知機能障害の有無をとらえることを目的としている。質問項目は9問と少なく、本人の生年月日さえ確認できればおよそ5分～10分程度で施行できる。

・検査内容と質問の仕方, 採点法

(設問1) 年齢

「お歳はおいくつですか?」と問い、満年齢が正確にいえれば1点を与え、2年までの誤差は正答とみなす。

(設問2) 日時の見当識

年・月・日・曜日について問う設問。「今日は何月何日ですか?何曜日ですか?今年は何年でしょう」というように順不同に尋ねてもよい。各正答に対してそれぞれ1

点を与える。

(設問3) 場所の見当識

「私たちが今いる場所はどこですか?」と問い、現在いる場所がどこなのかが本質的にとらえられていれば正答とみなし、自発的に答えられれば2点を与える。病院名や施設名、住所などが答えられなくてもよい。もし正答が出てこない場合には、5秒程度待ち、「ここは病院ですか?施設ですか?家ですか?」のように問いかけ、正しく選択できれば1点を与える。

(設問4) 3つの言葉の記銘

「これからいう3つの言葉を覚えてみてください。後でまた聞きますのでよく覚えておいてください」と教示する。「桜・猫・電車」あるいは「梅・犬・自動車」のどちらかを使う。一つの言葉に対して1点を与える。

(設問5) 計算問題

「100引く7はいくつですか?」と問い、答えが出たら「それからまた7を引くといくつでしょう」と問う。正答に対して各1点を与えるが、最初の計算に失敗したら打ち切り、次の設問に進む。

(設問6) 数字の逆唱

「これからいう数字を逆から覚えてください」と教示する。正答に対して各1点を与えるが、最初の逆唱に失敗したら打ち切り、次の設問に進む。

(設問 7) 3つの言葉の遅延再生

「先ほど覚えてもらった言葉をもう一度いってください」と教示する。自発的に答えられたものには 2 点を与え、出てこなかった言葉に対して、それぞれ別々にヒントを与え、ヒントによって答えられたものには 1 点を与える。

(設問 8) 5つの物品記録

「これから 5 つの品物をお見せします。それを隠しますから、ここに何があったかをいってください。順番はどうでもかまいません」と教示する。物品は相互に無関係なものを名前をいいながら一つずつ並べる。各正答に対してそれぞれ 1 点を与える。

(設問 9) 言葉の流ちょう性(野菜の名前)

「知っている野菜の名前をできるだけたくさんいってください」と教示する。5 個までは採点せず、6 個以上に 1 点ずつを加算していく。重複してもかまわないが、それ

は採点しない。途中で言葉に詰まり、約 10 秒たっても出てこないときにはそこで打ち切る。

・判定方法

最高得点は 30 点満点であり、20 点以下を認知症の疑い、21 点以上を正常と判定した場合にもっとも高い弁別性を示す (sensitivity 0.93 specificity 0.86)。HDS-R は、認知症のスクリーニングを目的に作成されたものであり、得点による重症度分類は行わない。

【参考文献】

- 1) 加藤伸司, 長谷川和夫, ほか: 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) の作成, 老年精神医学雑誌, 2: 1339-1347 (1991)。
- 2) 大塚俊男, 本間 昭監修: 高齢者のための知的機能検査の手引き。ワールドプランニング, 東京(1991)。

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

(検査日： 年 月 日) (検査者：)

氏名：	生年月日： 年 月 日	年齢： 歳
性別：男 / 女	教育年数（年数で記入）： 年	検査場所
DIAG：	(備考)	

1	お歳はいくつですか？ (2年までの誤差は正解)		0	1	
2	今日は何年の何月何日ですか？ 何曜日ですか？ (年月日，曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0	1	
		月	0	1	
		日	0	1	
		曜日	0	1	
3	私たちがいまいるところはどこですか？ (自発的にできれば2点，5秒おいて家ですか？ 病院ですか？ 施設ですか？ のなかから正しい選択をすれば1点)		0	1	2
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで，採用した系列に 印をつけておく) 1：a) 桜 b) 猫 c) 電車 2：a) 梅 b) 犬 c) 自動車		0	1	
			0	1	
			0	1	
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は？，それからまた7を引くと？ と質問する。最初の答えが不正解の場合，打ち切る)	(93)	0	1	
		(86)	0	1	
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2，3-5-2-9を逆に言ってもらう，3桁逆唱に失敗したら，打ち切る)	2-8-6	0	1	
		9-2-5-3	0	1	
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点，もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a：	0	1	2
		b：	0	1	2
		c：	0	1	2
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにかがあったか言ってください。 (時計，鍵，タバコ，ペン，硬貨など必ず相互に無関係なもの)		0	1	2
			3	4	5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。(答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり，約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 0～5=0点，6=1点，7=2点，8=3点，9=4点，10=5点	0	1	2
		3	4	5
				
				
			合計得点		

出典) 大塚俊男，本間 昭監修：高齢者のための知的機能検査の手引き。ワールドプランニング，東京(1991)。

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) よくある質問 ワンポイントアドバイス

・設問1～9について

(設問1) 年齢

(Q) 年齢を聞く設問で、2年までの誤差を正解としているのはなぜか？

(A) 数え年で答える人もおり、誕生日を迎えているかどうかで誤差が生まれる可能性もあるため、ちなみに生年月日を言うことができても、年齢がいえなければ0点となる。

(設問2) 今日の年月日、曜日の質問(時間の見当識)

(Q) 何年の何月、何日、何曜日と順番に聞いていかなければならないのか？

(A) この設問は、時間の見当識に関する質問なので、どの順番で聞いてもよい。たとえば、「今日は何曜日ですか？」「今日は何月何日でしたか？」「今年は何年になりましたか？」というように逆から聞いた方がうまくいく場合も多い。

(設問3) 今いる場所(場所の見当識)

(Q) 病院で検査をするような場合、その病院名が言えなければ正解とはしないのか？

(A) 病院名を答える必要はなく、自分が今いる場所が、本質的に理解できていれば、正解とする。

(Q) 自発的に答えられなかった場合、ヒントの与え方はマニュアルどおり「家ですか？」「病院ですか？」「施設ですか？」の3つを使わなければならないのか？

(A) この3つのヒントは、1つの例であり、「家ですか？」「デイサービスですか？」「公民館ですか？」のように変えてもかまわない。

(設問4) 3つの言葉(3つの言葉の記銘)

(Q) 3つの言葉を覚えやすい他の言葉に置き換えてもよいのか？

(A) 他の言葉に置き換えてはいけぬ。この3つの言葉は、検査を作成するときに「植物の名前」「動物の名前」「乗り物の名前」から連想する言葉として、認知症の人も、健常高齢者も共通して連想する言葉の上位2つから選んで作成している。また3つの言葉同士に関係性のないものを使用して

いるので、この3つの言葉を使うことにしてある。

(Q) 3つのうち2つしか覚えられないときには、どうすればよいのか？

(A) 3つの言葉のうち、2つしか覚えられないときには、2点と採点する。この3つの言葉は、設問7でもう一度尋ねる設問であるため、採点した後もう一度3つの言葉を覚えてもらう。これを3回まで繰り返し、3つ覚えられたときに設問7で3つの言葉をもう一度思い出してもらう。もし3回繰り返しても2つしか覚えられないときには、設問7で、「2つの言葉がありましたね」というように聞く。

(設問5) 引き算(計算問題)

(Q) 100引く7の答えをたとえば92と答えたとき、「92引く7はいくつですか？」と聞いてもよいのか？

(A) 最初の引き算に失敗したら、そこで打ち切る。ちなみに「100引く7はいくつですか？」と設問し、「93」という正答が得られた場合、「それからまた7を引くと？」と設問するものであり、「93引く7は？」といってはならない。100から7を引くと93になるが、その93という数を覚えていてもらってさらに7を引くという作業記憶の課題でもあるため、93という数を検査者は言ってはならない。

(設問6) 数字を逆からいう問題(数字の逆唱)

(Q) 数字を提示するときには、どのくらいの早さで言えばよいのか？

(A) 数字はゆっくりと、1秒間隔くらいのスピードで提示する。できれば、「これからいう数字を反対から言ってみてください。たとえば、1 2 3 を反対から言うと？」というように練習問題を入れるとよい。この設問は、単なる数の操作の問いではなく、「2 8 6」という数を頭で覚えておきながらそれを逆にして回答するという作業記憶の課題でもある。

(Q) 3桁の逆唱に失敗しても4桁の逆唱を行うのか？

(A) 3桁で失敗したら、そこで打ち切る。

(設問7) 3つの言葉の想起(3つの言葉の遅延再生)

(Q) 3つのうち1つしか答えられなかったときのヒントの与え方はどうするのか? またそのタイミングはどう考えればいいのか?

(A) ヒントは1つずつ与えるようにする。たとえば「桜」という答えがでた場合には、「動物もありましたね」というヒントを与え、それに対する回答を待ってみる。そして正答であっても誤答であっても、または「分からない」と答えた場合であっても、何らかの回答が返ってきたら、「乗り物もありましたね」というようにヒントを与える。ヒントを与えるときに「動物と乗り物がありましたね」と一度に言うてはならない。自発的に答えるのを待つつもりで設問すべきであり、「桜」という答えしかでないときにすぐにヒントを与えようとせず、「他にもありましたね」というように、少し時間を与えるようにする。

(設問8) 5つの物の名前への想起(物品記録)

(Q) 提示する物は、どんな物でもよいのか?

(A) 5つの品物は何でもよいが、携帯電話のように本人にとってなじみのない物は避けるべきである。5つの品物は、相互に無関係の物にすることが重要であり、たとえば「鉛筆」「消しゴム」のように関連性のある物はさげなければならない。

(Q) 5つの品物の提示の仕方ではどんな点に気をつけるべきなのか?

(A) 品物は1つずつ名前を言いながら目の前に置くようにする。実際には「これは時計ですね」といって目の前に置き、「これは鍵ですね」というように1つずつ確認しながら置いていく。5つ並べ終わったときに1つずつ確認し、「これは?」と聞いて「時計」と反応したら、次に「これは?」と聞いて「鍵」と答えてもらうようにする。そしてその5つを見せたまま、「これからこれを隠しますから、何があったか言ってください。順番はどうでもいいですから、思い出した物から言ってみてください」と教示する。また最後の1つがでてこないような場合であっても、すぐに終わりにするのではなく、なるべく本人に思い出してもらうように少し待ってみるくらいの余裕をもって検査を行う。

(設問9) 野菜の名前(言語の流ちょう性)

(Q) この設問は、野菜の名前をどのくらい知ってい

るかという知識の設問なのか?

(A) この設問は、知識を調べる設問ではなく、言葉がどのくらいスラスラでてくるかという言語の流ちょう性の設問である。また同じ野菜の名前がでてきても「それは先ほど言いましたね」と遮ることはせず、重複してもそのまま記録用紙に記載し、重複した物をあとで減点していく。

(Q) なぜ5つめまでを採点せず、6つめから1点と採点するのか?

(A) 検査を作成したときに、認知症高齢者の平均出現個数が約5個、健康高齢者の平均出現個数が約10個であったためである。

(Q) なぜ野菜の名前なのか? 女性の方が有利な設問ではないのか?

(A) 検査を作成するとき、すべての設問に地域差や性差がないものということで作成してある。野菜の名前についても、地域差、性差は認められていない。

・検査全般について

(設問の順番について)

(Q) この検査は、1から順番に行っていかなければならないのか?

(A) 順番はいつでもよく、日常会話に織り交ぜながら聞きやすいものから聞いていってもよい。ただし、設問4~7の4つの問は順番どおり、続けて行わなければならない。

(検査の導入にあたっての注意)

(Q) 検査を始めるときに、どのように導入していけばいいのか?

(A) いきなり「もの忘れの検査をする」というのではなく、「最近もの忘れが気になったりしませんか?」というような切り出し方をする。能力を試されると言うことは、だれでも苦手なことなので、テストに導入するときには、いきなり始めるのではなく、しばらく世間話などをして本人にリラックスしてもらってから始める。

(検査を終了した後の注意点)

(Q) 検査が終わった後に注意すべき点は何か?

(A) 検査終了後のアフターケアは非常に重要である。「疲れませんか?」という言葉をかけたり、最後の設問の「野菜」をテーマにした話をしたりするなど、嫌な気分のまま検査を終わらせないようにする注意が必要である。